



6/18

災害に備える心で、元気にウォーキング 震災復興ウォーク（山北総合運動公園）

大きな揺れにより多くの家屋に被害が出た山形県沖地震から2年となるこの日。震災を思い返し、さまざまな災害に備える機会にしてほしいと願いを込め、NPO法人さんぽくスポーツ協会主催の震災復興ウォークが開催されました。

今回は山北そらいろ保育園の園児75人も参加し、およそ1kmのコースに挑戦。4・5歳児は防災意識啓発のため、以前山北地域の消防事業の際に使用していた法被を着用し、一般参加者と共に元気に全員が完歩しました。

一般参加者は、防災意識の向上と健康づくりをしながら、園児たちの笑顔に元気をもらう1日となりました。



▲元気に歩く園児と一般参加者

6/20

まちあるきで故郷を再発見！ あらかわさんぽ～海老江の巻～（海老江集落）



▲川湊の歴史が残る海老江集落

あらかわ地区まちづくり協議会が支援する情報部会のFindArakawaチームは、荒川の重要な歴史や特徴的な地形をまちあるきによって再確認し、映える写真を撮ってSNSで地域をPRしようと本企画を立ちあげました。

第1弾の舞台となった海老江集落は、江戸時代に幕府領として年貢米の積出港として、そして北前船の寄港地として栄えました。現在は、湊としての役割は終えてしまいましたが、町並み、そして何よりも人々の心の中に今でも北前船時代の記憶が根付き、地域の宝として残されていることがとても印象的でした。

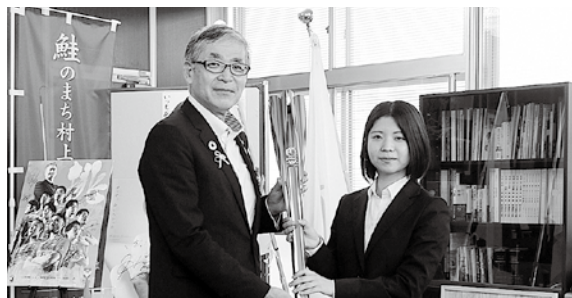
6/23

「桜ゴールド」の美しい輝き、ぜひ皆さんにも 山田さんが市長を訪れ、使用したトーチの一般展示を依頼（市役所）

東京2020オリンピック聖火リレーで、県内最終ランナーを務めた山田詩織さん（坂町）とご家族が市役所を訪れ、自身が使用したトーチを学校や施設に展示してほしいと申し出がありました。

山田さんは中学生の時に女子野球全国大会に出場し、高校でもただ一人、男子に混じって練習に励みました。この記念となるトーチを、これまでにお世話になった地域や学校、とりわけ子どもたちにぜひ見てもらいたいと語ってくれました。

トーチの展示は市役所を先駆け、市内の各中学校や公共施設などを巡回して展示が行なわれました。



▲「桜ゴールド」の美しい輝きぜひ、ご覧ください

6/26

回遊する清流の女王を求めて・・・ 鮎釣り解禁日（三面川、高根川）



▲鮎釣りを楽しむ釣り人

三面川沿岸の鮎釣りが解禁となり、待ちわびていた大勢の太公望たちが三面川や高根川で鮎釣りを楽しんでいます。

市外から訪れた人は「午前4時から竿をあげていた。釣果はまあまあだが、やはり楽しい。三面川と高根川は魅力的な川であり、毎年来ています。人も良いですね」と話し、時間を惜しむようにすぐにまた釣りを始めました。

晴天の中、身の丈を優に超える釣り竿を担ぎ、意気揚々と川に向かっていく姿や、あがっている竿の数々が見られる光景は、毎年変わらぬ朝日地域の夏の風物詩です。

6月下旬～

幻想的な光に魅了されます

ヘイケボタルが夜空を乱舞（「ホタルの里かわうち」 河内集落）



▲保護活動でホタルの数が増えています

神林地域の河内集落は、「ホタルの里かわうち」として知られています。国道290号線から一つ山中に入ったこの集落では、6月20日過ぎからはゲンジボタル、7月に入るとヘイケボタルが夜空を乱舞しています。

ホタルは蒸し暑くて月明かりや風のない日に活発に活動します。午後8時から9時頃が活動のピークになり、ホタルを初めて見る子どもたちや、昔を懐かしむ大人を幻想的な光で魅了します。

ヘイケボタルは8月上旬ごろには光の数は減っていきますが、まだ観察することができますので、大勢の皆さまのお越しをお待ちしております。案内を希望される人は、かわうちホタルの会（齋藤 ☎090-5190-6532）までご連絡ください。

7/1

歴史ある町並み保存に、また一歩前進

新たに4件が歴史的風致形成建造物指定に



地域の財産である歴史的な建造物を保存し、歴史的な町並み景観を保全する制度である「歴史的風致形成建造物指定制度」において、今年度、新たに4件の建物を追加指定しました。

追加指定されたのは「観音寺（肴町）」「旧共立鉄工所（鍛冶町）」「旧石田園（上片町）」「須藤家住宅（庄内町）」で、須藤家を除く3件については市長が伺い、直接指定書を交付しました。また、指定の証として、市の伝統産業である村上堆朱の技術で作成されたプレートも、併せて交付されました。

平成29年度から始まったこの制度により、合計43件が歴史的風致形成建造物に指定されています。



▲写真は観音寺

7/1～3

優しい香りに癒されて

ラベンダーを楽しむ会を開催（つどい場「あら、ほっ」）



▲ラベンダースティックづくり

あらかわ地区まちづくり協議会事業部会のハーブメイツあらかわは、荒川地域を花でいっぱいになろうとラベンダーやハーブなどを育てています。7月に満開を迎えたラベンダーを地域の皆さんと楽しもうと、ラベンダー石けんづくりや、アロマワックスバーづくり体験教室を開催し、訪れた方々を楽しませていました。

代表の酒井幸子さんは「昨年大雨や大雪の影響で運動公園のラベンダーは枯れてしまったが、今後はつどい場「あら、ほっ」にラベンダーやハーブを栽培し、地域の方々がたくさん訪れる場所にしていきたい」と話していました。

7/9

地域活性化と高齢者や障がい者の生きがいづくりを目指して

はつめの家「工房・食堂・広場」を一体化（有明集落）

有明集落には静かな中に歴史を感じさせる古民家があります。その古民家は、新潟市から移住してきた磯部さんご夫婦が高齢者と交流する中で、知恵と技の素晴らしさに感銘を受け、その技を伝承していこうと、地域の活性化と高齢者や障がい者の生きがいづくりを目指して「はつめの会」を立ち上げました。

はつめの家の工房では、高齢者の手仕事の技を習いながら、自然素材を生かした「ものづくり体験」ができます。食堂、茶の間の広場では定期的に地元ならではの食事や会話が楽しめ、各種イベントを通して地域の人との交流が育まれています。



▲囲炉裏で食事と会話を楽めます